

## 「高度生殖補助医療が周産期合併症を増加させる機序についての検討」

### 研究実施のお知らせ

#### 1. 研究の対象となる方

2017年1月1日から2022年12月31日に、当院で凍結融解胚移植を行い妊娠成立し、当院で分娩をされた方

#### 2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ~ 2026年3月31日

#### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2024年4月1日

#### 4. 研究の目的

晩婚化・晩産化が進む本邦において、高度生殖補助医療(ART)の需要は高まっています。需要が高まる一方で、ARTによる妊娠は早産・妊娠高血圧症候群といった周産期合併症が増加することが知られています。中でも、凍結融解胚移植時の子宮内膜調整法のプロトコルの違いで、周産期合併症の発症リスクが異なることが報告されています。これらの報告は近年多くなっていますが、なぜこのような違いが起きるのかはわかっていません。

そこで今回、2017年1月1日から2022年12月31日の間に当院でARTにより妊娠成立し、当院で分娩管理を行った患者様の診療録情報を解析させていただき、本学内で周産期合併症を発症した患者さんとしていない患者さんの背景や血清ホルモン値の違いについての研究を行いたいと考えております。周産期合併症の発症を、胚移植時のホルモン値などで予測できるならば、今後より適切な周産期管理が行えると考えます。

#### 5. 研究の方法

当院でARTを行い妊娠成立し、周産期管理を行なった方の診療録を振り返り、統計学的な検討を行います。

#### 6. 研究に用いる試料・情報の項目

〈利用する情報・項目〉

情報:診療録情報

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんから情報を得ることはありません。

## 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

## 8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 産婦人科学講座 吉野修

収集した診療録情報は研究組織内でのみ利用させていただきます

## 9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

## 10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を、本人への同意無く第三者へ提供することはありません。

## 11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

## 12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

担当者の所属・氏名：山梨大学 産婦人科学講座 吉原達哉

住所：〒408-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：nyarometatsuyafanta@gmail.com

FAX：055-273-1113